

様式

技術名称	2段タイ材地下施工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	THK-090001-A
会社名等	株式会社 大林組 株式会社 日本港湾コンサルタント(JPC)	担当者	大林組:中村 JPC:星野 技術本部長	連絡先	大林組:03-5769-1141 JPC:03-5434-5256
技術の概要	「2段タイ材地下施工法」とは、矢板式岸壁に対する増深・耐震補強技術です。既設岸壁を供用しながら、その前面矢板を再利用して、増深化、荷重増等の機能強化および耐震補強を図る技術で、既設岸壁の背面に新たに控え工を増設し、高性能小口径推進機により陸上から斜め削孔して既設岸壁の水中部にタイ材を増設することにより、新旧2段のタイ材で外力に抵抗できる構造とする工法です。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	有	
技術の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施工中に既設岸壁の稼働が可能 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に岸壁前面、エプロン、荷捌き地、臨港道路を占有しない工法。 ・海側施工は水中部の新設タイ材の取付けだけで、岸壁前面の作業範囲が狭く期間も極めて短い。 ・施工中においても船舶の接岸や荷役を制約しないため既設岸壁の稼働が可能。 ・長期間に亘って稼働休止できない岸壁の補強工事に最適。 2. 従来工法と比較して経済的 <ul style="list-style-type: none"> ・既設岸壁の前面矢板を再利用する工法。 ・新規に設置するのは、背面地中部の控え工とタイ材のみ。 ・施工中の岸壁休止に伴う経済的・社会的損失が極めて少ない。 ・前面前出し新設矢板一体工法や背面薬液注入固化工法などの従来工法と比較して、大幅なコスト削減が可能。 3. 工期の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・工種が従来工法に比べて少なく、掘削・埋戻しの土量も必要最小限に抑えられる。 ・従来工法と比較して大幅な工期の短縮が可能。 4. 安全性・耐久性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・控え式矢板岸壁の建設技術の延長であり、安全性と耐久性の確認が既になされている工法。 5. 施工中の環境対策 <ul style="list-style-type: none"> ・工種全般に亘って、振動・騒音障害が少ない工法。 	その他			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。